



ロータリーの友便り

ロータリーの友
地区代表委員

庄野 晋吉

(大阪RC)

(1)ロータリーの友・1月号推奨記事 ※推奨記事順
【3ページ】

まず、今月のRI会長メッセージです。

今月もラビンドランRI会長は、ヒンズー教の教えを紐解いて、奉仕の真髄を指摘しておられます。2人の聖者と1人の学生の対話を通して、弱者である学生の主張を大事にしようと、呼びかけておられます。宗教と政治には関与しないことが謳われているロータリーですが、多神教を是とする我々日本人には、理解出来る教えを説いて「世界へのプレゼントなろう」と訴えておられます。しかし、キリスト教やイスラム教など一神教を信じている人々には、少し判り難い話の様に思えます。「日々目にし、共有しているロータリーは地元色が濃いものです。そのような中で、より広い視野や奉仕の真の意味を見失うのはたやすいことです。」という言葉には深い意味を感じます。そして、このRI会長メッセージのテーマ「あなたの影響力を増やしましょう」に繋がっているのです。

【7～13ページ】

今月は「職業奉仕月間」ですから、関連記事が特集されています。

まず2590地区の取り組みですが、教職員の皆様に職業体験学習をしていただく取り組みです。これは大変に大事なことで、毎年多くの地区で実施している、中学生の職業体験学習を先生方にも体験して頂いて、教職しか経験されていない方に我々の職業を知って頂くと共に、生徒達が何を学んでいるかを知って頂く取り組みです。われわれ2660地区でも教職員の皆様に、実業を知って頂く事は、大変大事なことだと思われまます。病院、ホテル、飲食店、百貨店、などで一部のクラブで取り組んでいます。実際に経験された先生方の感想は、非常に高い評価でしたが、

どの学校にも反対される先生が1～2名いらっしゃるのが気になります。

次に、東京愛宕ロータリークラブが、地区補助金を利用して実施した高校生の「起業家育成」の取り組みは、日本には少ないと指摘されており、今後日本経済の柱となる「起業家」を沢山育成する大事な取り組みです。われわれの地区でも、高校への出前授業は実施していますが、このテーマはやっていませんので、是非検討したい取り組みです。

また、岡山西南RC、宇部RC、大曲RCが実施しています「高校生の就職模擬面接」は、学校側も生徒達にも役に立つ取り組みであり、成果も出ていると思われまます。この取り組みも、ロータリーらしい大事な職業奉仕です。

【30～31ページ】

「よねやまだより」の記事です。

われわれ2660地区・交野ロータリークラブの元会長・安養寺敏彦会員からの報告です。

この記事には大いに驚きました。交野RCが米山奨学生として支援し、近畿大学大学院で博士号を取得して帰国し、その後渡米して外資系製薬会社で働いている中国人・米山学友の「張膚安」さんの話です。

張さんは、米山奨学生終了7年後に突然、交野RCに1000ドルの寄付を申し出られました。それから毎年、交野RCの米谷記念奨学会へ寄付が届けられ、現在までにその総額は150万円を超えたそうです。

つい先年まで、日本からODAをむしり取り、なんの言及もしない中国政府に小生は不満いっぱいでした。しかし、張さんの行為は素晴らしいことです。まだまだ家族を養うことで手いっぱいのはずの若いサラリーマンが、受けた恩義に少しでも報いんと寄付をされていることに驚くと共に、心から称賛を送りたいと思



っています。中国にも、やはり、やはり、素晴らしい人はいます。偏見はやめたいと思わせてくれました。

【62～63ページ】

「友愛の広場」の記事です。12月号でも今月号でもロータリーの友・二神編集長が述べておられます、ロータリーは変わっていく必要があり、常に多様性を良しとして変革していかなばならないと云うことには、納得しています。

今月号の63ページで平塚北RCの山梨会員が記載されています「ロータリーの生きる道」と題する主張は会員減少の難問に際して、あまりふさわしくないロータリアンを増やしたことを反省されておりまして、会員相互の連携が難しくなって「木を見て森を見ず」の弊害を心配されています。増強を推し進めるなら、子クラブ、孫クラブへの拡大も考え、職業分類の原則も大事にして、多様性のある会員構成を図るべきだと記されていることも、良く判ります。

次の前橋東RCの馬場会員の記事は「変わらないために変わり続ける」と題されていますが「職業奉仕」の看板が色あせてきたことに危惧を示しながら、「誰かを助ける」ということが100年を超えるロータリーの恒常性であるべきと訴えられていまして良く判ります。

ただ、次の千歳RCの福田会員の『「ロータリーの目的」の邦訳を考える』記事ですが、賛成できかねるご意見です。職業を持たない人も会員になれるのだから、「ロータリーの目的」の主文・邦訳「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」という文言を「ロータリーの目的は、意義ある日常活動の根底に……」と職業人でないロータリアンを前提に変更すべきと提案

されています。この件は2660地区からRIに異議ありと申し入れております。

小生は職業を持たない人の入会については、さらなる検討と議論が必要だと考えておりますので、この御意見には賛成できません。

(2)2660地区関連記事

【30～31ページ】

「よねやまだより」

前述の交野RC「寄付に込める思いと願い」

【51ページ】

ロータリーアットワーク ROTARY AT WORK
大阪イブニングRC「史跡・平野環濠跡の清掃」

【57～56ページ】

ロータリー俳壇

大阪心斎橋・・・西村 拓大夫

東大阪東・・・島 顕佑

大阪心斎橋・・・米田 文郎

東大阪東・・・溝畑 洋子

ロータリー柳壇

大阪西・・・鴨谷 瑠美子

大阪東淀ちややまち・・・小坂克彦

(3)その他注目記事

【34ページ】

「カウボーイ・ロジック」と「西部のおきて」

レイ・クリンギンスミス財団管理委員長の思いが記載されていますが、ジム・オーウェンが書いた「西部のおきて」が「四つのテスト」に通じる、と述べておられますが、非常に面白いお話です。